



1・2年生進級おめでとう

3月24日（月）、令和6年度の修了式を迎えることができました。以下は修了式での校長挨拶（抜粋）です。▼今月12日に行われた卒業式から、はや12日が経過しました。卒業生の中学校生活最後を飾るにふさわしい、大変感動的な卒業式でした。27名の3年生は、全員が第一志望校に合格するという大仕事をやってのけて、この三珠中学校での数々の思い出を胸に刻み、希望に胸を膨らませ、4月からスタートする新生活に向け巣立っていきました。その姿は輝きに満ちていて、大変素晴らしいものでした。▼しかし、素晴らしいのは卒業生だけではなく、3年生を送り出す側の1・2年生のみなさんの式に臨む態度や姿勢もまた素晴らしかったです。感謝の気持ちをこめた送る言葉や合唱からは、みなさんの卒業生に対する温かな思いがひしひしと伝わってきました。みなさんなら、来年度も誰もが安心して楽しく生活できる温かな学校をつくってくれると信じています。▼さて、本日をもって令和6年度のすべての課程を修了します。この1年はみなさんにとって、どんな1年だったでしょうか？▼2年生のみなさんは、磯野先生・串松先生の指導のもと、中堅学年として、学校行事や生徒会活動、部活動において3年生を的確にサポートしながら、1年生の面倒もよく見てくれました。また、3年生を送る会では心温まる素晴らしい会を開いてくれ、来年度の最上級生としての貫禄も示してくれました。▼1年生のみなさんは、はじめのうちは小学校と違う中学校生活のリズムに慣れるのに苦労をしたことと思いますが、小野先生・大木先生の指導のもと、持ち前の明るく前向きな気持ちと一生懸命さで日に日に中学生らしく成長していきました。▼1・2年生の成長を大変、嬉しく思うと同時に、来年度の三珠中が今年度同様、またはそれ以上に明るく、楽しく、みんなが成長できる場所になるのではないかと期待しています。▼そのような令和7年度を迎えるために、明日からはじまる春休みは、健康や安全に気をつけたうえで初日から『頑張るぞ!』と思えるよう体と心を整えた充実した時間を過ごしてほしいと願っています。4月7日、15人の新入生を迎え新生三珠中学校はスタートします。みんなであつた会えることを楽しみにしています。



令和6年度ありがとうございました

令和6年4月1日、年度最初の職員会議の冒頭、学校教育を進める上で大切にしたいことを2つ話させてもらいました。▼1つ目は、生徒・教職員の安心・安全を第一にした学校です。朝、『行ってきます!』と言って家を出てきた生徒や先生方が無事に『ただいま!』と言って帰宅する。そんな当たり前のことを常に意識し、大切にできるよう、常日頃から生徒・教職員の安心・安全を最優先する選択をぶれることなく行っていく、そんな思いを口にしました。▼2つ目は、三珠中での時間を、そこに集う生徒・教職員が「心地よい」と感じてもらえるような学校にしたいということです。生徒たちはもちろんのこと私たち教職員も1日の中から睡眠時間を引いた十数時間の大半を学校で過ごしています。つまり、生徒たちも私たちも、三珠中で関わりをもつ人たちと家族より長い時間過ごすことになる訳です。それゆえに自分自身も含めて、この三珠中へ通うすべての人に「三珠中が好き!」と思える時間を過ごしてもらえるよう、職員にこんなお願いしました。それは、すべての教育活動を進めていくうえで「自分の家族だったら、どういう対応を取るのかを常に意識し、愛ある対応を心がけてほしい」ということです。これは生徒に対してだけでなく同僚に対しても同じで、大人が良い関係を築くことが必ず子どもたちにより影響を与えるはずで、もちろん家族の中でだって言い争いが起きることもありますし、時には険悪なムードになることもあります。しかし家族にはそれを知らず知らずのうちにリセットして、再び前に歩み出すパワーが備わっています。そのパワーの源が「家族愛」なのではないかと私は考えています。家族のように安心できる環境の中であつてこそ人は意欲が高まったり、その力を遺憾なく発揮できるのではないのでしょうか。▼あれからもうすぐ1年が経過しようとしています。果たして我々三珠中職員は、この2つのことを大切にできたのか、しっかりと振り返りを行い、反省すべきことは反省して、生徒・教職員、誰にとっても居心地良く成長できる場となる三珠中を目指していきたいと思っています。▼結びにこの1年、本校教育にご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。みなさまの温かいご支援があり、我々教職員は自信とやりがいをもって生徒たちと向き合うことができました。至らない点も多々あつたかと思えます。それでも温かいご支援をいただいた保護者のみなさまも、「大家族三珠中」の一員だったのでないかと感謝の気持ちでいっぱいです。心から御礼申し上げます。来年度も三珠中へのご支援ご協力をよろしくお願いします。